

令和六年三月十五日 信者心の道勉強会

神 示

人間は 何を果たすために 誕生しているのか

その真実に気付くべし

この気付きを欠くために 人生に迷い 悩み 苦しむ人々が多い

信者に申す

神は 運命を万人・万物に宿し

運命が重なり 補い合って回る世界を造る

運命の力が 万人・万物に 任と立場を与え

調和する社会へと導いている

なれど 欲心が 任と立場を見えなくする

ますます「道」欠き 外し

運命で重なり 補う社会を崩してきた

全ての運命が重なり合って

一人一人が「道」を守って関わり合えば

自然と世界は一つにまとまり 万人・万物の運命が生きてくる

信者は 今日の世界の姿――

不安に迷い 人生に夢持てず 将来におびえる因に気付くべし

「教え」を人生の支えに生きれば

人間は必ず 運命に導かれた人生が歩める

そこに 人生の意味――

社会に奉仕し 開運かなえる人生の価値が見えてくる